

2014年5月

今月のトピック

当所研究員が日本食品衛生学会奨励賞を受賞 鍋師裕美食品部主任研究員が、第107回日本食品衛生学会学術講演会において日本食品衛生学会平成26年度奨励賞を受賞した。(受賞課題名:食品中の放射性セシウムに関する研究)(平成26年5月15日、東京都江戸川区)

当所研究員が日本食品化学学会ポスター賞を受賞 志田(齊藤)静夏食品部主任研究員が、日本食品化学学会第20回総会・学術大会において日本食品化学学会ポスター賞を受賞した。(受賞課題名:GC-MS/MSを用いた茶中の残留農薬一斉分析法の検討、連名者:根本了、手島玲子)(平成26年5月23日、東京都江東区)

食品添加物に係わる国際シンポジウムを開催 国際シンポジウム Global Harmonization of Food & Food Additives を5月21日に開催した。食品添加物等の規格の国際整合性について、Codex 副議長の Dr.Samuel Godefroy など国内外の8名の講師にご講演頂いた。参加者は160名以上で活発な意見交換があった(食品添加物部 穂山)。

1. 誌上発表(原著論文)

(生物薬品部)

- 小林 哲, 遊佐敬介, 川崎ナナ

抗体医薬品及び免疫抑制作用を有する各種薬剤の投与症例におけるウイルス感染プロファイルの比較とこれを利用したウイルス感染のリスク分析
医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス **45**(5), 436-441 (2014)

(遺伝子細胞医薬部)

- 内田恵理子, 古田美玲, 菊池裕, 窪崎敦隆, 遊佐精一, 宮原美知子, 佐々木裕子^{*1}, 小原有弘^{*2}, 大谷梓^{*2}, 松山晃文^{*3}, 大倉華雪^{*3}, 山口照英

^{*1}国立感染症研究所, ^{*2}医薬基盤研究所, ^{*3}先端医療振興財団

細胞基材に対するマイコプラズマ否定試験のPCR法の見直しに関する研究
医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス, **45**(5), 442-451 (2014)

- Sakurai, M.*, Watanabe, T.*, Suzuki, T., Furihata, C.*
*青山学院大学

Time-course comparison of gene expression profiles induced by the genotoxic hepatocarcinogen, chrysene, in the mouse liver (マウス肝臓において遺伝毒性肝発がん物質クリセンにより誘発される遺伝子発現プロファイルの経時比較)
Genes and Environment, **36**, 54-64 (2014)

(医療機器部)

- Haishima, Y., Kawakami, T., Hasegawa, C., Tanoue, A.^{*1}, Yuba, T.^{*2}, Isama, K., Matsuoka, A., Niimi, S.

^{*1}国立成育医療研究センター研究所 ^{*2}川澄化学工業

Screening study on hemolysis suppression effect of an alternative plasticizer for the development of a novel blood container made of polyvinyl chloride (ポリ塩化ビニル製新規血液バッグの開発に向けた代替可塑剤の溶血抑制能評価)

J. Biomed. Mater. Res. Part B, **102**, 721-728 (2014)

- Sasaki, H.^{*1}, Takeuchi, I.^{*2}, Okada, M.^{*3}, Sawada, R., Kanie, K.^{*1,3}, Kiyota, Y.^{*4}, Honda, H.^{*1}, Kato, R.^{*1,3}
^{*1}Department of Biotechnology, Graduate School of Engineering, Nagoya University, ^{*2}Department of Computer Science/Scientific and Engineering Simulation, Graduate School of Engineering, Nagoya Institute of Technology, ^{*3}Department of Basic Medicinal Sciences, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Nagoya University, ^{*4}Nikon Corporation
Label-free morphology-based prediction of multiple differentiation potentials of human mesenchymal stem cells for early evaluation of intact cells (間葉系幹細胞の多分化能を培養中早期の細胞から評価するための形態情報を用いた非侵襲的予測法の開発)
PLOS ONE, **9**(4), e93952, 2014
- (食品部) ○ Nakamura M.^{*1,2}, Yagami A.^{*1}, Hara K.^{*2}, Sano A.^{*1}, Kobayashi T.^{*1}, Aihara M.^{*3}, Hide M.^{*4}, Chinuki Y.^{*5}, Morita E.^{*5}, Teshima R., Matsunaga K.^{*1}
^{*1} 藤田保健衛生大学医学部皮膚科学, ^{*2} ホーユ株式会社, ^{*3} 横浜市立大学医学部皮膚科学, ^{*4} 広島大学医学部皮膚科学, ^{*5} 島根大学医学部皮膚科学
A New Reliable Method for Detecting Specific IgE Antibodies in the Patients with Immediate Type Wheat Allergy due to Hydrolyzed Wheat Protein: Correlation of Its Titer and Clinical Severity. (加水分解小麦に対する患者血清中 IgE 抗体の新規で信頼性の高い測定法: 抗体価と臨床的重篤度の相関)
Allergol Int. **63**(2), 243-249, 2014
- (食品添加物部) ○ 山崎太一^{*1}, 大槻 崇, 三浦 亨^{*2}, 末松孝子^{*3}, 堀之内嵩暁^{*4}, 村上雅代^{*1}, 齋藤 剛^{*1}, 井原俊英^{*1}, 多田敦子, 田原麻衣子, 合田幸広, 穂山 浩, 中尾慎治^{*2}, 山田裕子^{*2}, 小池 亮^{*4}, 杉本直樹
^{*1} 独立行政法人産業技術総合研究所, ^{*2} 和光純薬工業株式会社, ^{*3} 株式会社 JEOL RESONANCE, ^{*4} 花王株式会社
¹H NMR による精確な定量分析のための内標準液を用いる試料調製法の検討
分析化学, **63**(4), 323-329 (2014)
- (衛生微生物部) ○ Kamata, Y.^{*1}, Saito, M.^{*2}, Irikura, D., Yahata, Y.^{*3}, Ohnishi, T., Bessho, T.^{*4}, Inui, T.^{*4}, Watanabe, M., Sugita-Konishi, Y.^{*5}
^{*1} 岩手大学, ^{*2} 埼玉動物検疫センター, ^{*3} 国立感染症研究所, ^{*4} 大阪府立大学, ^{*5} 麻布大学
A Toxin Isolated from *Sarcocystis fayeri* in Raw Horsemeat May Be Responsible for Food Poisoning (食中毒の原因の可能性のある馬肉中のザルコシステイスフェアリー毒素の分離)
Journal of Food Protection. **77**, 814-819 (2014)
- (代謝生化学部) ○ Minegishi, Y.¹, Mano, J.², Takabatake, R.², Nakamura, K., Kondo, K., Kato, Y.³, Kitta, K.², Akiyama, H.
^{*1} ニッポンジーン, ^{*1} 食品総合研究所, ^{*3} 富山県立大学
Development of pBT63, a positive control plasmid for qualitative detection of genetically modified rice (遺伝子組換えコメの定性検知に用いる陽性コントロールプラスミド(pBT63)の開発)
Japanese Journal of Food Chemistry and Safety, **21**, 48-56

(2014)

- (毒性部) ○ Ohba T^{*1}, Xu J^{*2}, Alexander DB^{*2}, Yamada A^{*1}, Kanno J, Hirose A, Tsuda H^{*2}, Imaizumi Y^{*1}.

^{*1} 名古屋市立大学大学院薬学研究科 ^{*2} 名古屋市立大学津田特任教授研究室(ナノ材料トキシコロジープロジェクト研究室)

MWCNT causes extensive damage to the ciliated epithelium of the trachea of rodents. (MWCNTは、齧歯類の気管線毛上皮に甚大な損傷を引き起こす.)

J Toxicol Sci. 2014;**39**(3):499-505

- Kondoh S.^{*1}, Inoue K. ^{*1, *2, *3}, Igarashi K., Sugizaki H. ^{*4}, Shirode-Fukuda Y.^{*1}, Inoue E. ^{*1}, Yu T. ^{*1, *2}, Takeuchi JK. ^{*4, *5}, Kanno J, Bonewald LF. ^{*6}, Imai Y. ^{*1, *2}

^{*1} 東京大学分子細胞生物学研究所骨関節疾患制御研究分野 ^{*2} 愛媛大学プロテオサイエンスセンター ^{*3} 愛媛大学総合科学研究支援センター ^{*4} 東京大学分子細胞生物学研究所心循環器再生研究分野 ^{*5} 科学技術振興機構戦略的創造研究推進事業さきがけ ^{*6} ミズーリ大学歯学部口腔生物学

Estrogen receptor α in osteocytes regulates trabecular bone formation in female mice. 骨細胞中のエストロゲン受容体 α は、雌性マウスの骨梁形成を制御する.

Bone, 2014, **60**, 68-77

- Xu J^{*1, *2}, Futakuchi M^{*2}, Alexander DB^{*1}, Fukamachi K^{*2}, Numano T^{*2}, Suzui M^{*2}, Shimizu H^{*3}, Omori T^{*4}, Kanno J, Hirose A, Tsuda H^{*1}

^{*1} 名古屋市立大学津田特任教授研究室(ナノ材料トキシコロジープロジェクト研究室) ^{*2} 名古屋市立大学大学院医学研究科分子毒性学分野 ^{*3} 名古屋市立大学大学院医学研究科共同研究教育センター ^{*4} 名古屋市立大学大学院医学研究科 医療健康政策科学

Nanosized zinc oxide particles do not promote DHPN-induced lung carcinogenesis but cause reversible epithelial hyperplasia of terminal bronchioles. ナノサイズの亜鉛酸化物粒子は、DHPNによって誘発される肺癌を促進しないが、細気管支末端における可逆性上皮過形成を引き起こす.

Arch Toxicol. 2014;**88**(1):65-75

2. 誌上発表 (総説・解説等)

- (薬品部) ○ 加藤くみ子

ブロック共重合体ミセル医薬品の開発に関する厚生労働省/欧州医薬品庁の共同リフレクションペーパー：作成の経緯と概要

Pharm Tech Japan **30** 1011-1015, 2014

- 坂本知昭, 村山広大*, 藤巻康人**, 小金井誠司**, 北川雅博***, 小宮山誠*, 香取典子, 合田幸広

*横河電機株式会社, **東京都立産業技術研究センター, ***エーザイ株式会社

高速・高感度分散形近赤外分光器を用いた錠剤中主薬成分の定量と工程内導入への適用性、
医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス, **45**(4), 361-367 (2014)

- (食品添加物部) ○ 穂山 浩, 杉本直樹

コチニール色素・カルミン摂取による食物アレルギー

ファルマシア, 50(6), 522-527 (2014)

3. 単行本

- (医療機器部)
- 齋島由二
生体適合性制御と要求特性掌握から実践する高分子バイオマテリアルの設計・開発戦略
サイエンス&テクノロジー(株), 東京(2014), pp.3-21
第1部「医療機器市場の拡大と新規製品の開発及び実用化促進を支援する施策: 開発、上市化、市場確保において留意すべきポイント」について本書の一部を著述した。
 - 中岡竜介
生体適合性制御と要求特性掌握から実践する高分子バイオマテリアルの設計・開発戦略
サイエンス&テクノロジー株式会社, 東京(2014), pp.358-367
第10部第3章「医療用高分子材料の不具合事例と開発における留意点について」で、過去に医療用高分子材料に生じた不具合事例の一部紹介とそれを基にした高分子材料及び医療機器開発における留意点の考え方を本書の一部として著述した。

4. 学会・講演等

- (薬品部)
- 加藤くみ子、桜井真理、川西徹、奥田晴宏、合田幸広
リポソーム製剤の血液適合性に関する評価法研究
日本薬剤学会第29年会、2014年5月、埼玉県さいたま市
 - 吉田 寛幸、伊豆津 健一、四方田 千佳子、柴田 寛子、合田 幸広
GastroPlusを用いた吸入剤の薬物動態予測に関する検討
日本薬剤学会第29年会(2014.5)(埼玉県さいたま市)
 - 吉田 寛幸
経肺吸収製剤の評価法
日本薬剤学会第29年会(2014.5)(埼玉県さいたま市)
 - 柴田寛子、四方田千佳子、吉田寛幸、伊豆津健一、川西徹、奥田晴宏、合田幸広
リポソームと相互作用する生体分子の探索とその評価
日本薬剤学会第29年会(2014.5)(埼玉県さいたま市)
 - 宮崎玉樹、阿曾幸男、合田幸広
ニフェジピンの光安定性に及ぼす非晶質化の影響
日本薬剤学会第29年会(2014.5)(埼玉県さいたま市)
 - 伊豆津健一、柴田寛子、吉田寛幸、合田幸広
凍結溶液における高分子とアミノ酸の相分離と結晶化
日本薬剤学会第29年会(2014.5)(埼玉県さいたま市)
- (生物薬品部)
- 石井明子
「医薬品開発における生体試料中薬物濃度分析法(リガンド結合法)のバリデーションに関するガイドライン」
策定の背景と論点
日本薬物動態学会 第8回ショートコース ~バイオ医薬品開発を促進する技術基盤~
学術総合センター(2014.5)東京・千代田区
- (生薬部)
- 在間一将、丸山卓郎、合田幸広、袴塚高志
Polygonum 属植物に含有される resveratrol および anthraquinone 類の LC/MS 分析
日本食品化学学会 第20回総会・学術大会(2014.5)東京都江東区

- (遺伝子細胞医薬部) ○ 内田恵理子, 古田美玲, 菊池裕, 窪崎敦隆, 遊佐精一, 宮原美知子, 佐々木裕子^{*1}, 小原有弘^{*2}, 大谷梓^{*2}, 松山晃文^{*3}, 大倉華雪^{*3}, 山口照英
^{*1}国立感染症研究所, ^{*2}医薬基盤研究所, ^{*3}先端医療振興財団 (現所属: 医薬基盤研究所)
日本薬局方参考情報収載マイコプラズマ否定試験の PCR 法改正のための共同研究
 日本マイコプラズマ学会第 41 回学術集会(2014.5) 東京都文京区
- (生活衛生化学部) ○ 河上強志, 伊佐間和郎, 五十嵐良明
皮膚に触れる可能性のある家庭用品に使用されている防腐剤の実態—冷感タオルおよび衛生製品等における事例
 第 23 回環境化学討論会(2014.5)(京都府京都市)
- 久保田領志, 小林憲弘, 齊藤香織^{*1}, 齋藤信裕^{*2}, 鈴木俊也^{*3}, 小杉有希^{*3}, 田中美奈子^{*4}, 塚本多矩^{*5}, 林田寛司^{*6}, 平林達也^{*7}, 山本五秋^{*1}, 五十嵐良明
^{*1}サーモフィッシュャーサイエンティフィック (株), ^{*2}仙台市水道局, ^{*3}東京都健康安全研究センター, ^{*4}千葉県水道局, ^{*5}(株)島津製作所, ^{*6}ジーエルサイエンス (株), ^{*7}大阪市水道局
固相抽出-LC/MS 法によるフェノール類検査法の妥当性評価
 第 23 回環境化学討論会(2014.5)(京都府京都市)
- 山本五秋^{*1}, 齊藤香織^{*1}, 関口陽子^{*1}, 山岸陽子^{*1}, 久保田領志
^{*1}サーモフィッシュャーサイエンティフィック (株)
直接注入-LC-MS/MS による水道水中ハロアセトニトリル類測定法の検討
 第 23 回環境化学討論会(2014.5)(京都府京都市)
- 高玲華^{*1}, 臼井淳^{*1}, 林田寛司^{*1}, 宮林武司^{*1}, 高橋正和^{*1}, 久保田領志
^{*1}ジーエルサイエンス (株)
固相抽出-LC/MS (LC/MS/MS) 法による水中フェノール類の分析法の検討
 第 23 回環境化学討論会(2014.5)(京都府京都市)
- 内野 正, 竹澤俊明^{*1}, 山下邦彦^{*2}, 小島 肇, 押方 歩^{*1}, 石田誠一, 清水久美子, 秋山卓美, 五十嵐良明
^{*1}(独) 農業生物資源研究所, ^{*2}(株)ダイセル
THP-1 細胞のビトリゲル薄膜への接着性について
 日本組織培養学会第 87 回大会(2014.5)(東京都千代田区)
- 内野 正, 宮崎 洋^{*1}, 山下邦彦^{*1}
^{*1}(株)ダイセル
皮膚感作性試験法の開発状況
 日本組織培養学会第 87 回大会サテライトシンポジウム(2014.5)(東京都千代田区)
- 小林憲弘
水道水中の農薬類の GC/MS および LC/MS/MS 分析方法の開発
 日本水環境学会 MS 分析技術基礎講習会～今さら聞けない基礎知識講習会～
 (2014.5) (東京都新宿区)
- (食品部) ○ 植草 義徳, 鍋師 裕美, 中村 里香, 堤 智昭, 蜂須賀 暁子, 松田 りえ子, 手島 玲子
市販流通食品中の放射性セシウム検査

～平成 25 年度流通食品検査のまとめ～

第 23 回 環境化学討論会, 2014 年 5 月 15 日 (京都府京都市)

- 志田(齊藤) 静夏, 根本 了, 手島 玲子
GC-MS/MS を用いた茶中の残留農薬一斉分析法の検討
第 20 回日本食品化学学会学術大会, 2014.5 (東京都江東区)
- 手島 玲子
食品の安全と評価科学
第 20 回日本食品化学学会学術大会, 2014.5 (東京都江東区)
- 菊地博之、渡邊敬浩、林 智子、赤木浩一¹、松田りえ子、手島玲子
¹ 福岡市保健環境研究所
暫定的規制値への適合判定を目的としたメチル水銀分析法の開発
第 20 回日本食品化学学会学術大会, 2014.5 (東京都江東区)
- 坂井隆敏、根本 了、手島玲子
畜水産物中のプロゲステロン分析法の開発および実態調査
日本食品衛生学会第 107 回学術講演会, 2014.5 (東京都江戸川区)
- 鍋師裕美、堤 智昭、蜂須賀暁子、八戸真弓¹、濱松潮香¹、等々力節子¹、松田りえ子、手島玲子
¹ 農研機構食品総合研究所
米・麦・大豆中の放射性ストロンチウムと放射性セシウムの濃度比について
日本食品衛生学会第 107 回学術講演会, 2014.5 (東京都江戸川区)
- 鍋師裕美
食品中の放射性セシウムに関する研究
日本食品衛生学会第 107 回学術講演会, 2014.5 (東京都江戸川区)
- 片岡洋平、渡邊敬浩、林 智子、松田りえ子、蜂須賀暁子、手島玲子
東日本大震災・津波被害地域で市販された食品の有害元素類含有量実態調査
第 23 回 環境化学討論会, 2014 年 5 月 15 日 (京都府京都市)
- 片岡洋平、五十嵐敦子、平間祐志¹、吉崎麻友子²、石井敬子³、寺田久屋⁴、小林博美⁵、中村雅子⁶、石川順子⁷、山本雄三⁸、古謝あゆ子⁹、松田りえ子、渡邊敬浩、手島玲子
¹ 北海道立衛生研究所、² 新潟県保健環境科学研究所、³ 横浜市衛生研究所、⁴ 名古屋市衛生研究所、⁵ 滋賀県衛生科学センター、⁶ 福井県衛生環境研究センター、⁷ 香川県環境保健研究センター、⁸ 宮崎県衛生環境研究所、⁹ 沖縄県衛生環境研究所
2013 年度有害物質の摂取量推定とこれまでの年次推移
第 20 回日本食品化学学会学術大会, 2014.5 (東京都江東区)
- 渡邊敬浩、植草義徳、高附巧、片平洋平、堤智昭、松田りえ子、蜂須賀暁子、手島玲子

- 東日本大震災・津波被害地域で市販された魚類製品のPCBs濃度の実態調査**
第23回 環境化学討論会, 2014年5月15日 (京都府京都市)
- 渡邊敬浩、片岡洋平、荒川史博^{*1}、森松文毅^{*1}、手島玲子^{*1}
^{*1}日本ハム(株) 中央研究所
摂取量推定を目的とした元素分析法の性能評価手法の開発
第20回日本食品化学学会学術大会, 2014.5 (東京都江東区)
 - 堤智昭、高附巧、渡邊敬浩、松田りえ子、手島玲子
国内で市販されている健康食品中のダイオキシン類含有実態調査(2007-2012年度)
第23回 環境化学討論会, 2014年5月15日 (京都府京都市)
 - 堤智昭、高附巧、足立利華、渡邊敬浩、松田りえ子、手島玲子
魚介類や肉類を使用した弁当からのダイオキシン類摂取量
第20回日本食品化学学会学術大会, 2014.5 (東京都江東区)
 - 佐藤里絵^{*1}、亀山真由美^{*1}、手島 玲子^{*1}
^{*1}農研機構食品総合研究所
ソバ種子の発芽過程におけるアレルゲンの発現
第20回日本食品化学学会学術大会, 2014.5 (東京都江東区)
 - 山口大樹^{*1}、片山茂^{*1}、佐藤里絵^{*2}、手島玲子、中村宗一郎^{*1}
^{*1}信州大学農学部、^{*2}農研機構食品総合研究所
ドライヒーティング法による蕎麦主要アレルゲン Fag e 2 のリン酸化によるアレルギー改善効果
第20回日本食品化学学会学術大会, 2014.5 (東京都江東区)
- (食品添加物部)
- 大月典子、杉本理恵^{*1}、佐藤恭子、杉本直樹、秋山卓美、豊田正武^{*1}、穠山 浩^{*1}
^{*1}実践女子大学生生活科学研究科
化粧品・医薬部外品中の乳アレルゲンタンパク質の分析について
日本食品化学学会第20回総会学術大会 (2014.5) (東京都江東区)
 - 鈴木一平、久保田浩樹、大槻 崇、小田琢磨、建部千絵、佐藤恭子、穠山 浩
過酢酸製剤成分 1-ヒドロキシエチリデン 1,1-ジホスホン酸 (HEDP) の食品中の分析法について
第107回食品衛生学会学術講演会 (2014.5)(東京都江東区)
 - 相沢亮介^{*1}、箕川 剛^{*1}、今田隆文^{*1}、中島光一^{*1}、伊藤澄夫^{*1}、山川有子^{*2}、穠山 浩^{*1}
^{*1}三栄源エフ・エフ・アイ、^{*2}山川皮ふ科
ELISA 法によるコチニール色素中の夾雑アレルゲンタンパクの定量
日本食品化学学会第20回総会学術大会 (2014.5)(東京都江東区)
 - 西川弘晃^{*1}、井之上浩一^{*1}、棚田千尋^{*1}、杉本直樹、関 俊哲^{*1}、轟木堅一郎^{*1}、穠山 浩、豊岡利正^{*1}

- ^{*1} 静岡県立大学薬学部
高速向流クロマトグラフィーによる加水分解クチナシ黄色素クロセチンの単離精製
 日本食品化学学会第 20 回総会学術大会 (2014.5)(東京都江東区)
- 天倉吉章^{*1}, 好村守生^{*1}, 森本沙羅^{*1}, 吉田隆志^{*1}, 多田敦子, 伊藤裕才^{*2}, 杉本直樹, 山崎 壮^{*3}, 穂山 浩^{*1}
^{*1} 松山大学薬学部, ^{*2} 共立女子大学家政学部, ^{*3} 実践女子大学生活科学部
- 既存添加物ゲンチアナ抽出物の成分研究**
 日本食品化学学会第 20 回総会学術大会 (2014.5)(東京都江東区)
- Ohtsuki, T., Sato, K., Abe, Y., Sugimoto, N., Akiyama, H.
Quantification of acesulfame potassium in processed foods by quantitative ¹H NMR (定量 ¹H NMR による加工食品中のアセスルファムカリウムの定量)
 12th International Conference on the Applications of Magnetic Resonance in Food Science (2014.5)(Cesena, Italy)
- (食品衛生管理部) ○ 與儀健太郎^{*1}・佐久川さつき^{*1}・大城直雅・安元健^{*3}
^{*1} 沖縄県衛生環境研究所, ^{*2} (一財) 日本食品分析センター
- (衛生微生物部) ○ **沖縄産シガテラ魚におけるシガトキシン類組成**
 沖縄生物学会第 51 回大会, 2014.05, 沖縄県西原町
- 内田恵理子, 古田美玲, 菊池裕, 窪崎敦隆, 遊佐精一, 宮原美知子, 佐々木裕子^{*1}, 小原有弘^{*2}, 大谷梓^{*2}, 松山晃文^{*3}, 大倉華雪^{*3}, 山口照英^{*1}
^{*1} 感染研, ^{*2} 医薬基盤研, ^{*3} 先端医療振興財団
- 日本薬局方参考情報収載マイコプラズマ否定試験の PCR 法改正のための共同研究**
 日本マイコプラズマ学会第 41 回学術集会 (2014.5) (東京・文京区)
- Yoshinari, T., Sugita-Konishi, Y.*1
^{*1} 麻布大学
- Occurrence of deoxynivalenol, T-2 toxin, HT-2 toxin and zearalenone in retail foods in Japan (日本で市販されている食品中に含まれるデオキシニバレノール、T-2 トキシン、HT-2 トキシン及びゼアラレノンの実態調査)**
 International Mycotoxin Conference 2014(2014,5)(Beijing, China)
- Ohnishi, T., Akuzawa, S^{*1}., Furusawa, H., Yoshinari, T., Kamata, Y^{*2}, Sugita-Konishi, Y^{*3}.
^{*1} 東京農業大学, ^{*2} 岩手大学, ^{*3} 麻布大学
- Application of Liquid Freezing Method to Inactivation of *Kudoa septempunctata* in Olive Flounder Meat. (リキッドフリージング法のヒラメ筋肉中のクドアセプテンプンクタタ不活化への応用)**
 IAFP (International Association for Food Protection) European Symposium (2014.5) (Budapest, Hungary)
- (代謝生化学部) ○ 伊東 篤志¹、田口 朋之¹、田名網 健雄¹、羽田 聖治¹、中村 公亮、近藤 一成、穂山 浩、手島 玲子、何 思巖³、宮原 平³、山田 晃世³、小関 良宏³
¹ 横河電機 (株) イノベーション本部、² 東京農工大・院
DNA マイクロアレイによる未承認遺伝子組換えパパイヤのスクリーニング検査法

- 日本食品化学学会 第20回 総会・学術大会、東京都江東区、2014年5月
- 中村公亮
未承認遺伝子組換え食品の検知法の開発に関する研究
日本食品化学学会 第20回 総会・学術大会、東京都江東区、2014年5月
 - 中村公亮、小林友子、近藤一成、最上(西巻)知子
次世代ゲノム編集技術を用いた人工プロモーター挿入によるグロビン遺伝子クラスター内での遺伝子発現量の調節
日本食品化学学会 第20回 総会・学術大会、東京都江東区、2014年5月
 - 宮崎明子^{*1}、渡辺聡^{*1}、平尾宜司^{*1}、酒井信夫、安達玲子、最上(西巻)知子
^{*1}ハウス食品グループ本社(株)
陽性/陰性判定プラスミドを用いた特定原材料のリアルタイムPCR定性検査法の開発
第107回日本食品衛生学会学術講演会(2014.5)(東京都江東区)
 - 柴原裕亮^{*1}、柳田梨紗^{*1}、猪井俊敬^{*1}、汪俊^{*2}、山田彰一^{*2}、酒井信夫、穂山浩、安達玲子
^{*1}日水製薬(株)、^{*2}日本水産(株)
医薬用外毒物を含まない抽出液を用いた新規甲殻類ELISAキットの開発
第107回日本食品衛生学会学術講演会(2014.5)(東京都江東区)
 - 酒井信夫、安達玲子、木村美恵、菊地博之、渡邊敬浩、佐々木和実^{*1}、西嶋桂子^{*1}、安宅花子^{*1}、福富友馬^{*2}、最上(西巻)知子、手島玲子
^{*1}製品評価技術基盤機構、^{*2}国立病院機構相模原病院臨床研究センター
抗原性を呈する加水分解コムギの分子プロファイリング
第26回日本アレルギー学会春季臨床大会(2014.5)(京都府京都市)
 - 酒井信夫、安達玲子、最上(西巻)知子、手島玲子
経皮感作性を有する加水分解コムギのスクリーニング用抗体について
日本食品化学学会 第20回 総会・学術大会、東京都江東区、2014年5月
- (安全情報部) ○ Morita, T., Hamada, S.*
^{*1}LSI Medience, Co.
The Rat Liver Micronucleus Test: Summary of the 2013 IWGT Working Group on the Liver Micronucleus Test (ラット肝小核試験：肝臓小核試験に関する2013年IWGT作業部会の要約)
2014 Annual meeting Genetic Toxicology Association (GTA)(2014.5)(Newark, DE, US)
- (医薬安全科学部) ○ 斎藤嘉朗、花谷忠昭
医薬品安全対策への医療情報データを用いた薬剤疫学的手法の導入と確立に向けた課題
第12回レギュラトリーサイエンス学会シンポジウム(2014.4)(東京都千代田区)
- 木戸博^{*1}、亀村典生^{*1}、中村亮介、手島玲子、深尾敏幸^{*2}
^{*1}徳島大学・疾患酵素学セ、^{*2}岐阜大学・医学部

- 臍帯血の抗原特異的低親和性 IgE 検出と、生後 6, 14 ヶ月の高親和性 IgE への変化
第 26 回日本アレルギー学会春季臨床大会 (2014.5) (京都府京都市)
- (毒性部) ○ 菅野 純
評価と管理の分界に関する考察
平成 26 年度日本環境変異原学会公開シンポジウム, 2014 年 5 月, 東京都港区
- Kitajima, S., Kanno, J.
Progress of Percellome Toxicogenomics Project (Percellome トキシコゲノミクス・プロジェクトの進捗)
2014 Spring International Symposium of Korean Society of Toxicology (KSOT) (2014.5) (Seoul, Korea)
- (薬理部) ○ Naoya Hirata, Shigeru Yamada, Yuko Sekino, Yasunari Kanda
Sphingosine-1-phosphate induces cancer stem cell proliferation via a Notch ligand-independent Notch activation
第 12 回幹細胞シンポジウム (2014.5) (福岡県福岡市)
- 松下琢混*, 石井貴晃*, 市川雄大*, 金 秀良, 石田誠一, 宮島敦子, 関野祐子
*崇城大
胎児及び成人肝細胞のメタボロームと化学物質毒性発現の比較解析
日本組織培養学会 第 87 回大会 (2014.5) (東京都千代田区)
- 石田誠一, 久保崇, 北條麻紀, 黒田幸恵, 金 秀良, 関野祐子
VECELL 培養器を用いた肝星細胞培養の検討
日本組織培養学会 第 87 回大会 (2014.5) (東京都千代田区)
- 内野 正, 竹澤俊明*¹, 山下邦彦*², 小島 肇, 押方 歩*¹, 石田誠一, 清水 久美子, 秋山卓美, 五十嵐 良明
*¹農業生物資源研究所, *²(株)ダイセル
THP-1 細胞のビトリゲル薄膜への接着性について
日本組織培養学会 第 87 回大会 (2014.5) (東京都千代田区)
- 押方 歩*, 石田誠一, 黒田幸恵, 須藤理恵*, 水野加奈*, 竹澤俊明*
*農業生物資源研究所
ヒト肝がん細胞の肝機能を不活化する新しい培養法
日本組織培養学会 第 87 回大会 (2014.5) (東京都千代田区)
- 石田誠一
iPS 細胞由来肝細胞の創薬応用の現状とその有効活用のための周辺技術
日本組織培養学会 第 87 回大会 (2014.5) (東京都千代田区)
- 小島 肇
シンポジウムⅢ「化粧品および製薬開発における動物実験の世界的動向」EU における化粧品開発の現状と今後の動向
日本実験動物科学技術さっぽろ 2014 (第 61 回日本実験動物学会総会, 第 48 回日本実験動物技術者協会総会) (2014.5) (札幌市)

- 小島 肇
海外レギュレーションの最近の動向
日本環境変異原学会 平成 26 年度公開シンポジウム「レギュラトリーサイエンス」(2014.5) (東京都港区)
- 小島 肇
シンポジウム 2 「創薬を支援する先端培養技術：PKPD 予測に有用なヒト細胞の培養モデル」新しい評価体系構築に関する欧州の動向と日本の寄与
日本組織培養学会第 87 回大会 (2014.5) (東京都千代田区)
- Hajime Kojima, Nicole Kleinstreuer^{*1}, Lim Chae-Hyung^{*2}, Takashi Sozu^{*3}, Mika Watanabe^{*4}, Takeru Niitsuma^{*4}, Kunihiko Yamashita^{*5}, Takayuki Fukuda^{*6}, Noriko Yamaguchi^{*6}, Sho Fujiwara^{*6}, Hiroyuki Yamaguchi^{*7,*8} and Toshiaki Takezawa^{*8}
^{*1}ILS/NICEATM/ICCVAM, ^{*2}KOCVAM/MFDS, ^{*3}Kyoto University, ^{*4}Hatano Research Institute, Food and Drug Safety Center, ^{*5}Daicel Corporation, ^{*6}BoZo Research Center Inc., ^{*7}Kanto Chemical Co.,Inc., ^{*8}National Institute of Agrobiological Sciences
Pre-validation study of Vitrigel-EIT (Eye Irritancy Test) method (ピトリルゲル-眼刺激性試験法のプレバリデーション研究)
日本組織培養学会 第 87 回大会 (2014.5) (東京都千代田区)

(変異遺伝部)

- 本間正充
医薬品中に存在する遺伝毒性不純物の評価と管理 (ICH-M7 ガイドラインの概要)
第 350 回 CBI 学会研究講演会 (2014.5) (東京都文京区)
- 本間正充
環境変異原学会レギュラトリーサイエンス WG と最近の動き
平成 26 年度日本環境変異原学会公開シンポジウム (2014.5) (東京都港区)

5. レギュラトリーサイエンス関連国際会議報告

- (生薬部) ○ 袴塚高志
International Organization for Standardization (ISO) TC249 Plenary Meeting (国際標準化機構 TC249 第 5 回全体会議)
京都 (日本), 2014 年 5 月 26 日~29 日
国際標準化機構(ISO)TC249 (中国伝統医学 (仮題) 専門委員会) に参加し, 東アジア伝統医薬の原料生薬, 製品, 医療機器の品質と安全性を確保するための国際規格について審議した。また, 日本より提案した天然物由来医薬品の製造工程に関する標準案が, 新作業提案投票で採択され, 国際規格案作成の作業が始まることとなった。
- (食品部) ○ 根本 了
The 46th Session of the CODEX COMMITTEE on PESTICIDE RESIDUES(CCPR).
[第 46 回 FAO/WHO 合同食品規格計画 (コーデックス委員会) 残留農薬部会 (CCPR)]
南京 (中国)、2014 年 5 月 5 日~5 月 10 日
59 加盟国、EU 及び 10 国際機関が参加し、食品中残留農

薬の最大残留基準値（MRL）設定、食品の Codex 分類、リスク分析の原則、マイナー作物等に係る MRL 設定のガイダンス策定、農薬に関する Codex 優先リストの策定及び残留農薬分析法の評価基準の策定等について議論された。

6. 新聞・テレビ等

報告事項なし

+